

ざいにちちようせんじんしゅうらくう とろ じれい
～在日朝鮮人 集落ウトロの事例から～

だれ あんしん く まち かんが
誰もが安心して暮らせる街づくりを考える



きょうとふうじし いせだちようとうろちく やく 65
京都府宇治市伊勢田町ウトロ地区(約 65
せたい 200 ひと) は、せんじちゅう ひこうじょうけんせつ
世帯、200 人) は、戦時中、飛行場建設の
ためにつめられたこりあんろうどうしゃ はんば
ために集められたコリアン労働者の「飯場」
だった地域です。日本の敗戦によって工事
はちゅうし せま せいぎょうしゃ なん ほしやう
は中止され、失業者となり、何の補償もなく
その場に放置されました。さまざまな事情で
きこく せま ひとびと たす あ うとろ
帰国できなかった人々は助け合ってウトロに
す つづ けました。しかし、どち も めし
住み続けました。しかし、土地の持ち主から
は立ち退きをせまれ、さいばん うった えられました。
また、まいとし すいがい せいかつ
また、毎年のように水害にあうなど、生活は
くなん れんぞく
苦難の連続でした。

げんざい ながねん しみん ねが かな じゅうみん
現在は長年の市民の願いが叶い、住民が
立ち退きをせま せま きき こくふく しえい
立ち退きを迫られる危機は克服され、市営
じゅうたく けんせつ あんしん す つづ
住宅が建設され、安心して住み続けること
ができるようになりました。ウトロ住民た
ちが生きてきたれきしと、暮らしつづけるための
さまざま と く ゆた
様々な取り組み、そして豊かな「ウトロコミュ
ニティ」を守る活動を支えた「ウトロを守る
かい さいとうまさき はなし きき
会」の斎藤正樹さんからお話をお聞きし、
だれ あんしん く まち
誰もが安心して暮らせる街づくりについて、
ともにかんが あ おも
ともに考え合いたいと思います。ぜひ、ご
さんか
参加ください。

- ◆ 日時: 2019年9月21日(土曜日) 16時から18時
- ◆ 講師: 斎藤正樹さん(ウトロを守る会)
- ◆ 場所: 川崎市ふれあい館 (川崎区桜本1-5-6)
- ◆ 参加費: 無料 ◆ 定員: 30名
- ◆ 申し込み: 電話または mail でお申し込みください。
- ◆ 電話: 044-276-4800
- ◆ mail: fureaikan@seikyu-sha.com